

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第五小学校長

令和 8 年 4 月 2 3 日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は 6 年生で、国語、算数の 2 教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教 科	全国平均 正 答 率	下回って いる	やや下回 っている	ほぼ同じ	やや上回 っている	上回って いる
国語	6 0 . 9 %	○				
算数	5 6 . 4 %		○			

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	66.8%			○		
情報の扱い方に関する事項	52.3%	○				
話すこと・聞くこと	65.8%	○				
書くこと	45.7%	○				
読むこと	65.9%	○				

【考 察】

- 「情報の扱い方に関する事項」の領域では、文章や図などから情報と情報とを関係付けて理解したり、見つけた情報を整理して、問われている内容に合った形で用いたりする問題の正答率が全国平均を下回りました。日々の授業において、文の前後をよく読んで内容の繋がりを捉えたり、どの情報に注目して考えたらよいかを明確にしたりする学習を積み重ねていきます。
- 「書くこと」の領域では、文章の内容を引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題の正答率が全国平均を下回りました。集めた情報の中から設問に合った部分を適切に選び出す力を高めるために、他教科においても資料を活用した学習に取り組んだり、資料から読み取った内容をもとに自分の考えをまとめたりする機会を増やしていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	61.1%				○	
図 形	55.3%	○				
測 定	78.1%					○
変化と関係	41.1%	○				
データの活用	48.6%	○				

【考 察】

- 「数と計算」、「測定」の領域では、小数や分数、概数などの意味を正しく理解したり、数量関係に着目したりして、示された条件に合わせた解答を導き出すことができています。授業や朝学習において、つまずきやすいポイントを丁寧に扱いながら継続的に問題演習に取り組んだことが、力につながったと考えられます。
- 「変化と関係」の領域では、もとにする量と比べる量を正しく捉え、割合を求めたり読み取ったりすることに課題が見られました。今後は、図や線分図を用いて割合の関係を視覚的に捉えながら、条件を整理して考えることができるよう、繰り返し指導していきます。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第五小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	28.7	50.7	17.1	2.7
6	白五小	22.6	45.2	25.8	6.5

(単位 %)

【考 察】

- 全国平均と比較すると、自分で学び方を考え、工夫している児童の割合はやや低い傾向が伺えます。考えることに対して苦手意識をもっている児童もいるため、授業では、ペアやグループでの交流を取り入れながら、考えを深める時間を積極的に取り入れています。さらには、一人追究にも意識を向けられるようにしていきます。
- 日々の授業や家庭学習においても、分からないことや知りたいことがあったときに、自分で調べたり先生や友達に聞いたりして、解決方法を自分で選択していこうとする気持ちを育てていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	10.5	11.1	28.3	29.1	14.5	5.7
6	白五小	0.0	3.2	22.6	29.0	38.7	6.5

(単位 %)

【考 察】

- 1時間以上勉強をしている児童の割合は、25.8%で全国と比較して少なくなっています。本校が目標としている6年生の家庭学習の時間である【10分×学年＋10分（70分）】が達成できるよう、家庭学習の意義を繰り返し確認し、学習への意欲を高めることで、自ら進んで学習に取り組む姿勢と家庭学習時間の向上を目指していきます。
- 「家庭学習の手引き」を活用して、改めて学習の内容や取り組み方を確認します。やり方が分からない児童には、学習計画の立て方や具体的に何に取り組んだら良いか等アドバイスをを行い、家庭学習の質と時間を向上させることができるよう指導していきます。ご家庭でも励ましの言葉をお願いいたします。

- 3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	3 1. 4	4 7. 0	1 7. 2	3. 4
6	白五小	2 2. 6	5 1. 6	1 2. 9	1 2. 9

(単位 %)

【考 察】

- 約70%の児童が、既習した学習を次の学習につなげることができていると感じている一方で、「当てはまらない」と回答した児童も一定数見られます。今後は、授業における振り返りの時間を確保して、一人一人のつまづきを丁寧に確認・支援することで、分からないことをそのままにしない学習習慣を育てていきます。
- 振り返りの時間では、授業で分かった点やよく分からなかった点を見つめ直し、解決方法について考えることを通して、次の授業や家庭学習に生かしていけるような指導を工夫していきます。

- 4 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	5 2. 7	3 8. 7	5. 5	1. 3
6	白五小	1 6. 1	7 4. 2	6. 5	3. 2

(単位 %)

【考 察】

- 授業においては、ペアやグループで互いの考えを認め合い、協力して学ぶ活動を継続して取り入れたことで、考えを伝え合う活動が充実し、児童の理解の深まりにつながっています。
- 学校行事では、準備に主体的に取り組む姿が見られました。友達と話し合いを重ねながら協力して一つのものをつくり上げようとする意識が高まり、協働して活動する意識が育ってきています。